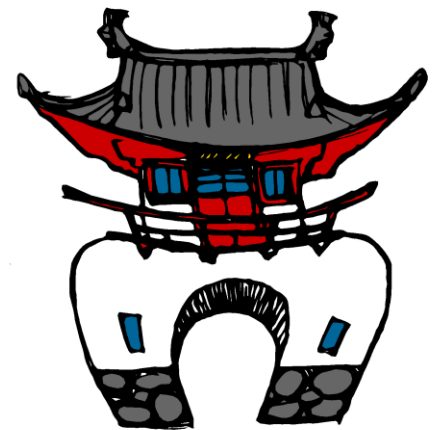


武雄市人口ビジョン(本編)



Ver.1.0 2015年(平成27年)9月策定
Ver.2.0 2020年(令和2年) 3月改訂
Ver.3.0 2025年(令和7年) 3月改訂

武雄市人口ビジョンポイント

1. 総人口、年齢3区分別人口の推移と将来推計

人口は1950年をピークに減少傾向。2050年には約3.7万人とピーク時の半数程に減少する見込み。

2. 出生・死亡数、転入・転出数の推移

2003年以降、死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態が続く。2018年に続き、2023年転入数が転出数を上回る「社会増」となった。

3. 昼夜間人口比率の推移

市外からの流入数、流出数の差は縮小しており、昼夜間人口比率は97.8%で推移している。

4. 在留外国人数

在留外国人数は2015年と比較して倍以上に増えている。

5. 性別・年齢階級別の人口移動の最近の状況（男女計）

高校卒業時に「転出超過」のピークを迎える。

6. 総人口の将来推計比較

2050年人口は前回（2020年）改訂時に比べ、1600人を上回るペースの人口増加を推計。

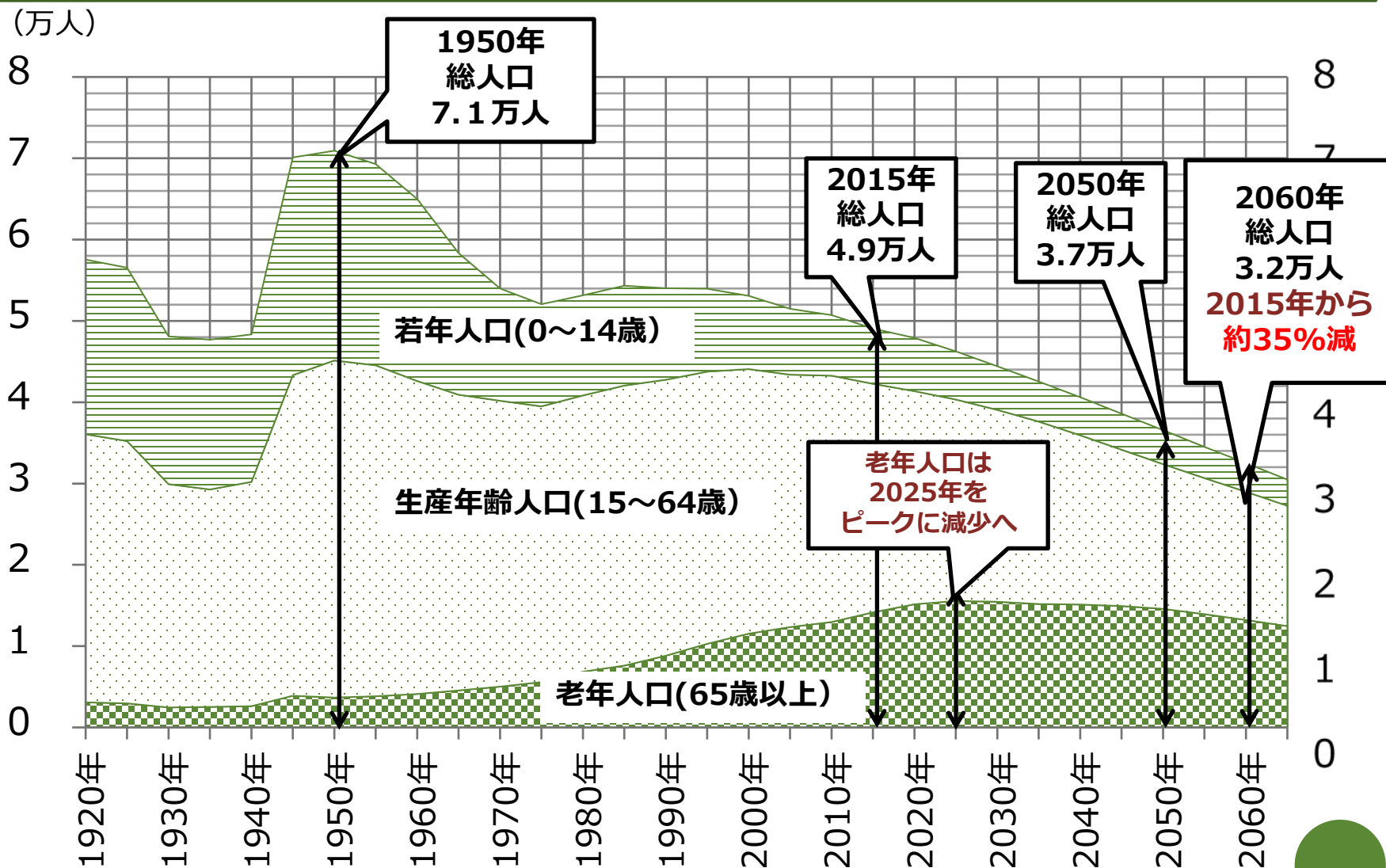
7. 将来人口の目標（市全体の総人口）

2060年人口4万人の維持を目指す。



1. 【総人口、年齢3区分別人口の推移と将来推計】

人口は1950年をピークに減少傾向。2050年には約3.7万人とピーク時の半数程に減少する見込み。



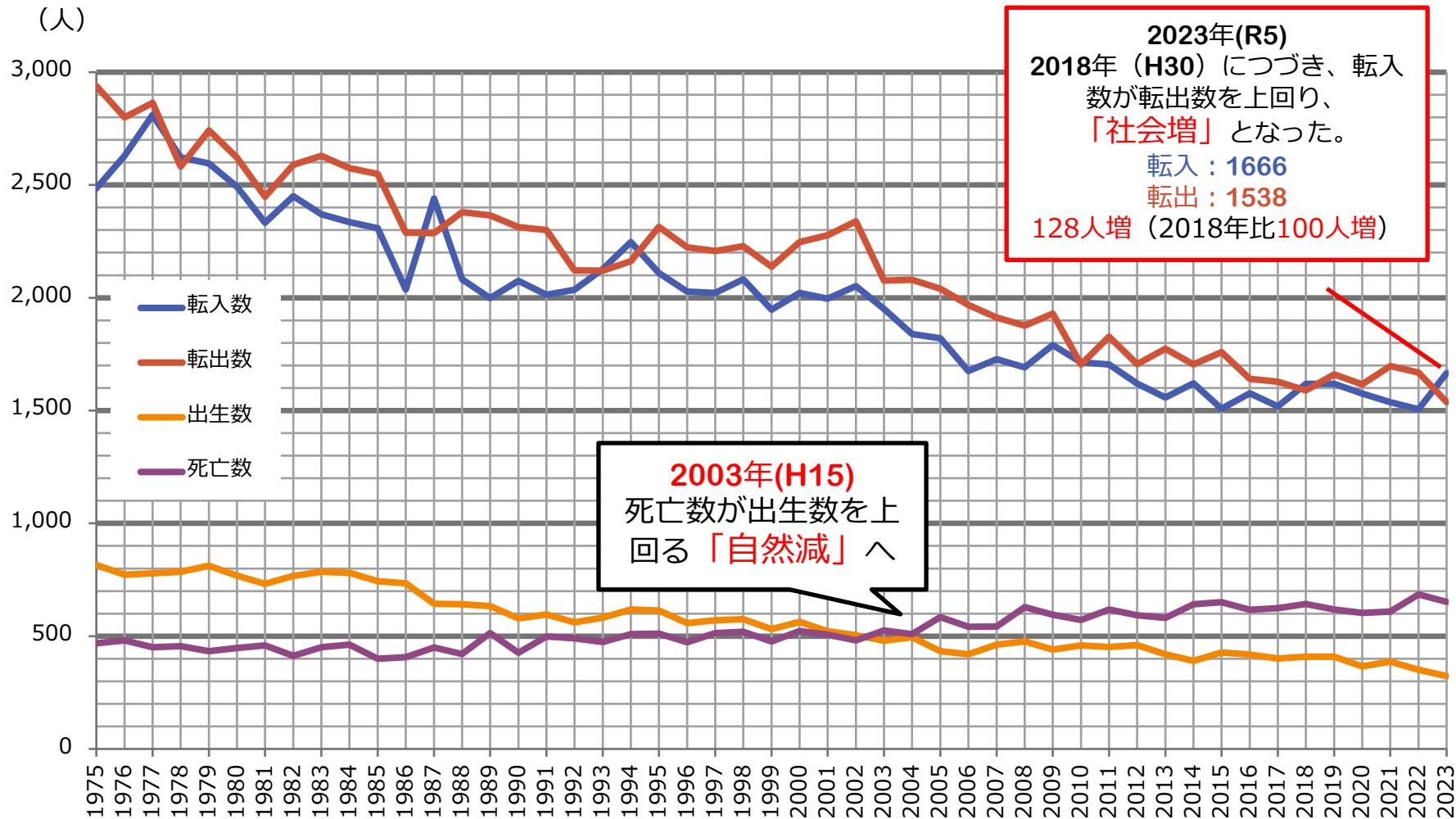
(出典) 「国勢調査(1920(大正9年)~2020(令和2年))」(総務省)

(注) 2025年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供データ(社人研推計準拠)から計上

※全国の移動率が、今後一定程度縮小すると仮定した推計

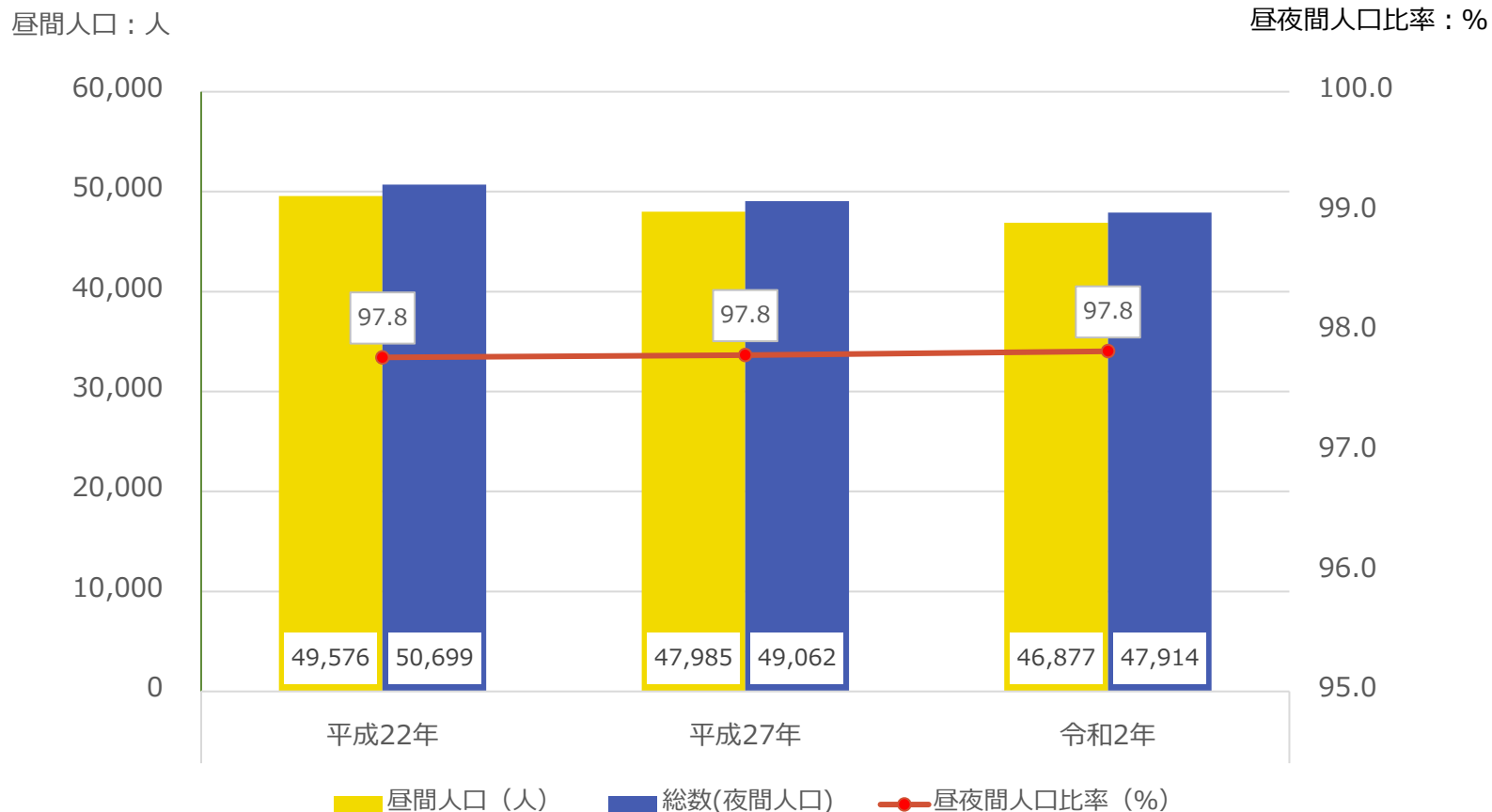
2. 【出生・死亡数、転入・転出数の推移】

2003年以降、死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態が続く。2018年に続き、2023年転入数が転出数を上回る「社会増」となった。



3. 昼夜間人口比率の推移

市外からの流入数、流出数の差は縮小しており、昼夜間人口比率は97.8%で推移している。



(昼間人口と夜間人口) ○昼間人口 : 従業地・通学値集計の結果を用いて、次により算出された人口。夜間勤務や夜間学校に通っている人も便宜上、含まれている。

※昼間人口の算出方法 : 常住人口(夜間人口) - 流出人口 + 流入人口

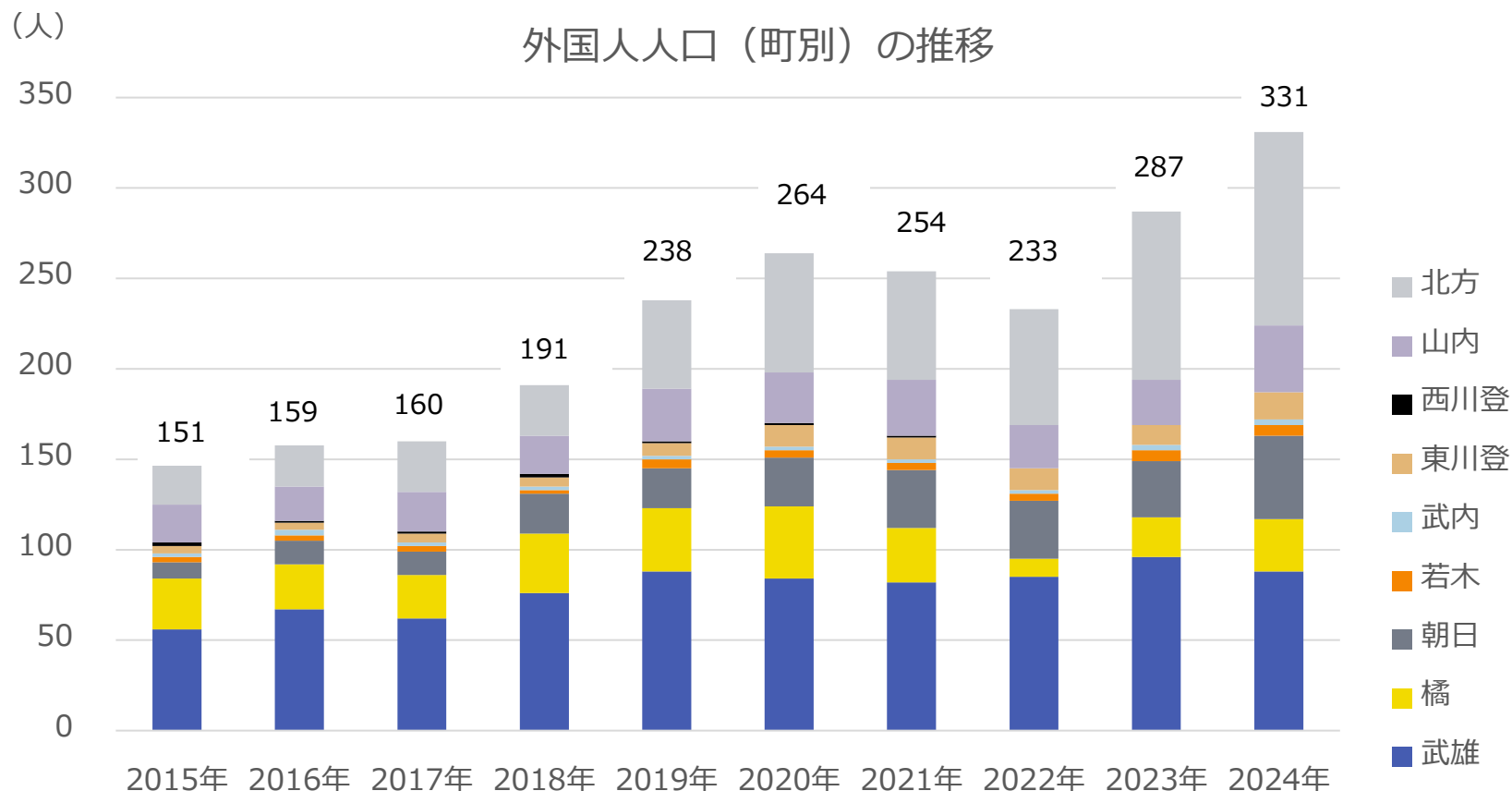
○夜間人口 : 調査の時期に調査の地域に常住している人口。

○昼夜間人口比率 : 昼間人口 / 常住人口(夜間人口) × 100

(出典) 「国勢調査(2010(平成22年)～2020(令和2年))」(総務省)

4. 在留外国人数

在留外国人数は2015年と比較して倍以上に増えている。

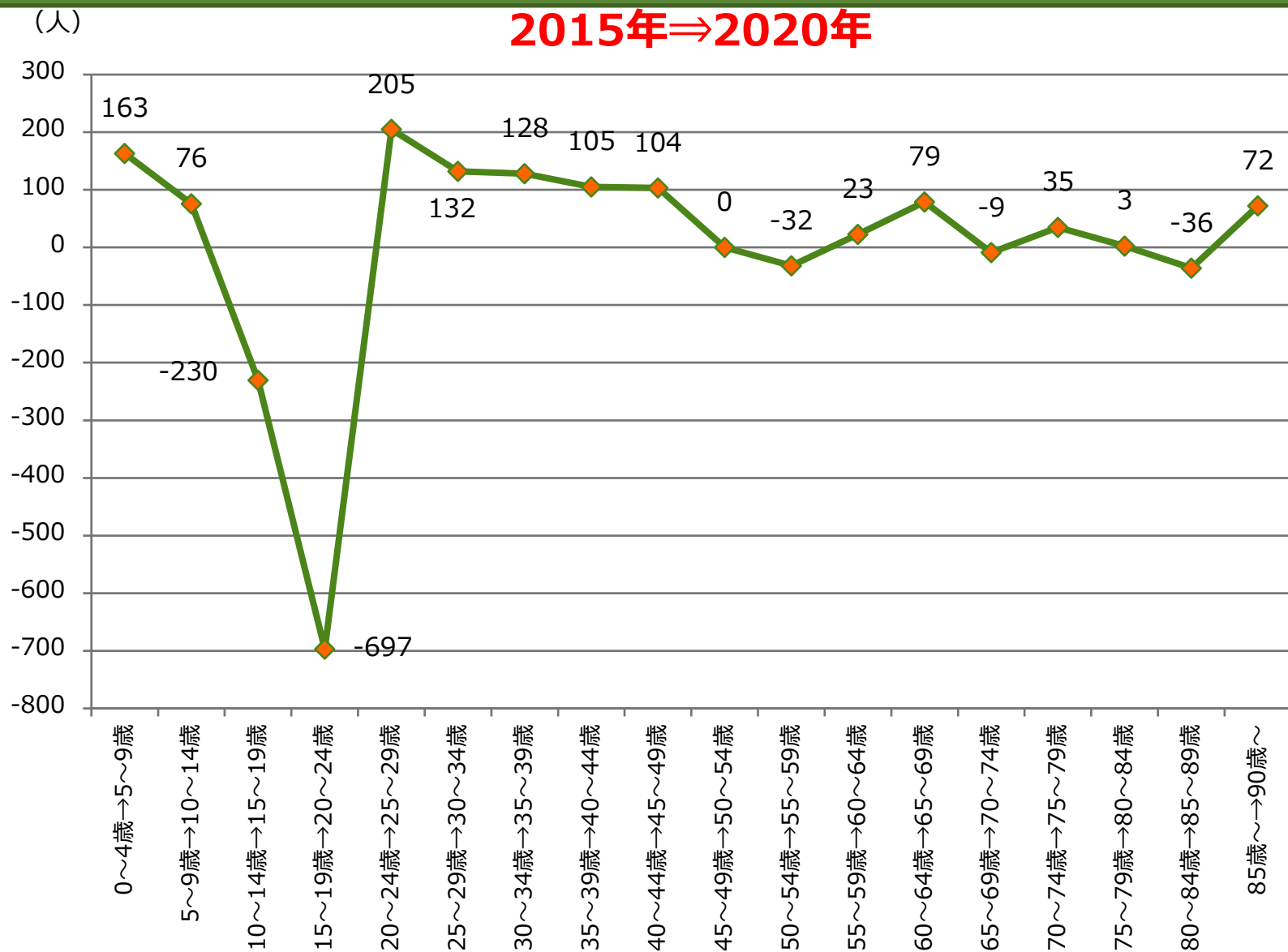


（出典）「住民基本台帳人口（2015（平成27年）～2024年（令和6年）」

※各年9月末人口。西川登町は、2022（令和4年）以降は0人

5. 性別・年齢階級別の人口移動の最近の状況（男女計）

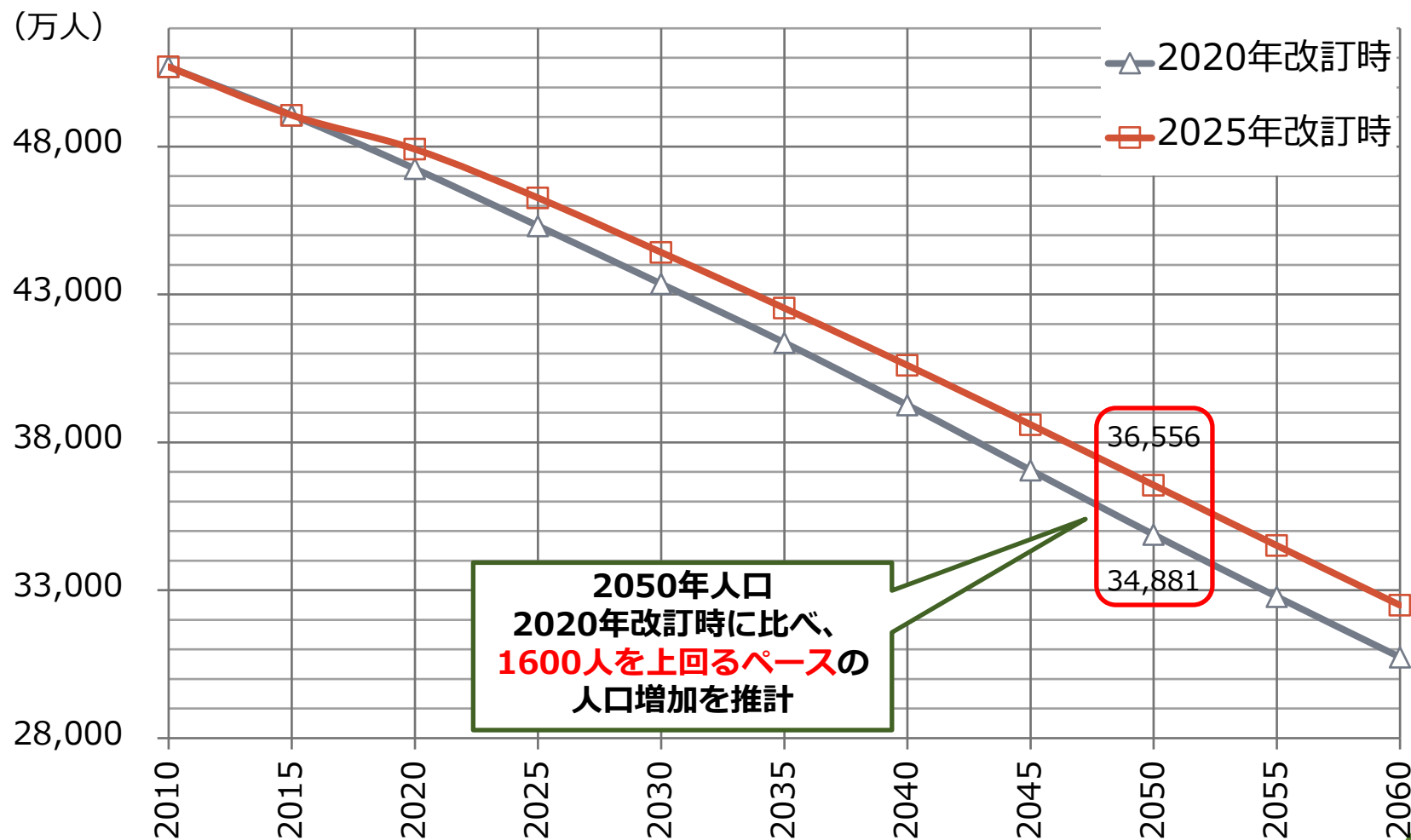
高校卒業時に「転出超過」のピークを迎える。



（出典）内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料を基に武雄市作成

6. 総人口の将来推計比較

2050年人口は前回（2020年）改訂時に比べ、1600人を上回るペースの人口増加を推計。



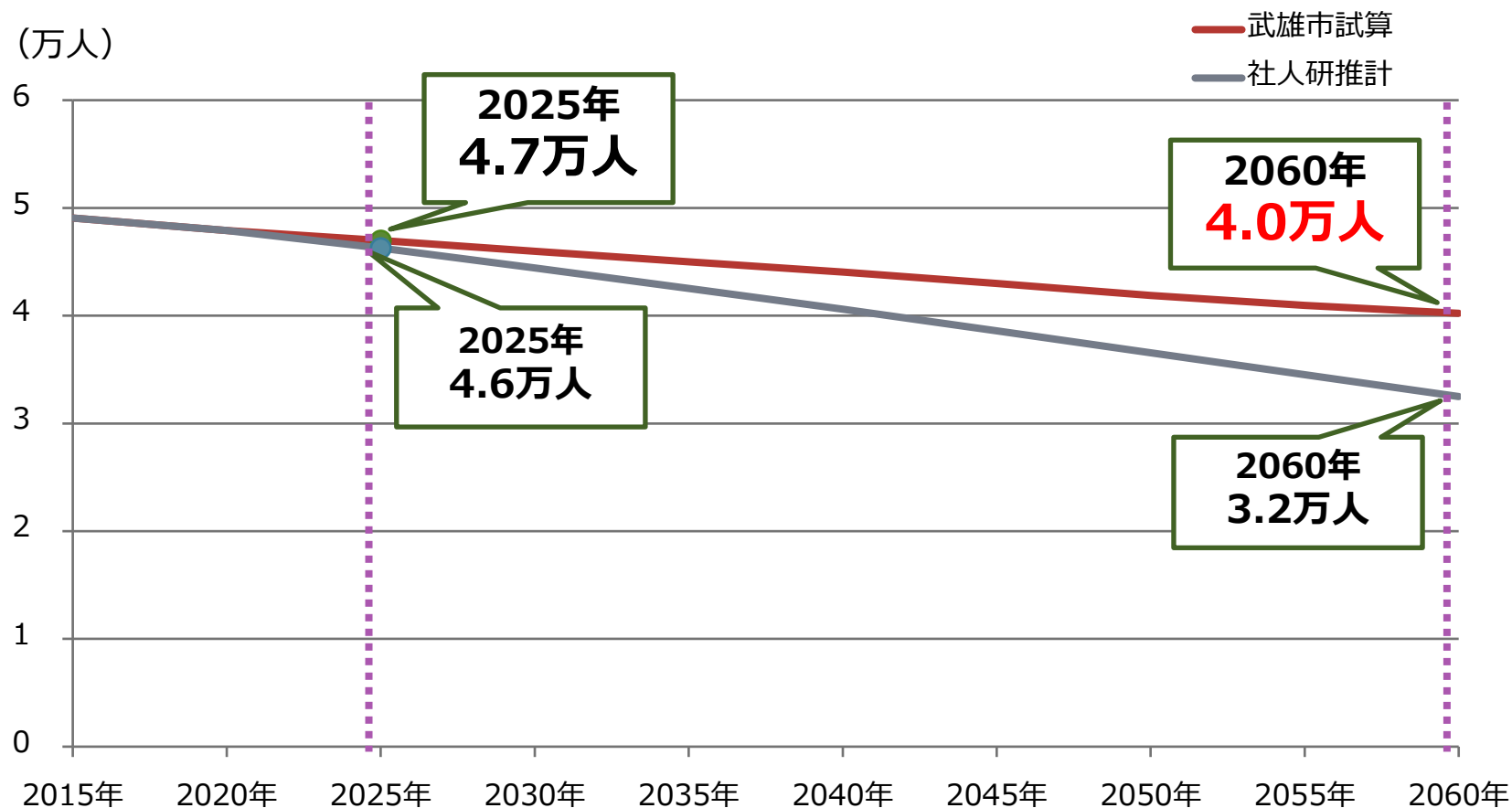
（出典）「国勢調査（1920（大正9年）～2020（令和2年）」（総務省）

（注）2020年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供データ（社人研推計準拠）から計上

※2020年の人口はVer.2.0では出典元が住民基本台帳データ（2015.2.28時点）、Ver.3.0では出典元が国勢調査人口のため相違。

※全国の移動率が、今後一定程度縮小すると仮定した推計（社人研推計準拠）

7. 将来人口の目標（市全体の総人口） 2060年人口4万人の維持を目指す。



（出典）

2025年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供データ（国立社会保障・人口問題研究所推計準拠）から計上

※全国の移動率が、今後一定程度縮小すると仮定した推計

（武雄市試算）

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料を基に武雄市試算

※合計特殊出生率が2030年に1.90、2035年に2.07（人口置換水準）となると仮定し、人口移動の純移動率は2040年までは社人研の人口推計の1/2、2045までは1/4、それ以降は等しく推移した場合として推計している。

Ver.3.0改訂

☆